連携講座レポート 第2号 2016.6.10

中高生の科学研究実践活動推進プログラム

平成28年度 大テーマ 「高校生の栄養摂取状況と筋量の相関」

第2回講座を実施しました

6月10日(金) 13:25~15:15 会場:2年6組教室

講義・討議:「データから解ること、調べられること」

講師:名古屋文理大学健康生活学部 健康栄養学科助手 山木 克将 先生

5月に実施した食事記録、アンケート、筋量等の測定値の二人(同じ部活、同じ身長、同じ通学手段と通学時間)のサンプルを見ながら、6つのグループに分かれてディスカッションしました。



参加した教員にとっても、アクティブラーニングの一つの手法として大変参考になる講座でした。



- ① 二人のデータを比較し、何が違うか。
 - 体脂肪率。
 - ・食事のバランス。野菜の量。間食の摂り方。
- ② 体脂肪率がこれほど違う理由は何か。
 - ・食事のバランスが違うから。
 - 運動の頻度と一度にする運動時間が違うから。
- ③ 体脂肪が多い理由は、どの項目を見るとわかるか。
 - ・男か女か
 - ・食事のバランス、野菜を摂った量
 - 間食の回数や種類
 - 運動量
- ④ 5月に取ったデータと11月に取るデータと比べて変化するデータと 変化しないデータはそれぞれ何だと考えられるか。
 - ・変化するデータ・・・・・体重、食生活、間食の種類や量、運動量 他
 - ・変化しないデータ・・・・身長、大きな筋肉の量、骨密度 他

5月のデータと比較し、何が変化し、何が変化しなかったかを確か めるのが楽しみです。変化する項目に着目してデータを分析すると、 相関関係が分かりやすいのだそうです。



第2回の食事調査をします

6月13日(月)~6月19日(日)

女子ハンドボール部、陸上部、レスリング部、サッカー部マネージャー、男子ハンドボール部マネージャー、 理科部、2年6組のみなさんに、2回目の食事記録をしてもらいます。

第2回筋量等測定をします

6月20日(月)、21日(火)、23日(木)16:00~ 会場:名古屋文理大学

第1回と同様に骨密度の測定と InBody による筋量等の測定をします。また、ここ1か月間の「食事に関する質問票」に回答をしてもらいます。

今後の予定 名古屋文理大学研究室の活動体験(8月8~10日)、 名古屋市科学館見学 第3,4回食事記録、筋量等測定(8月、11月)、データ分析、発表準備、科学三昧参加(12月)